

ともに守る 安全・安心な暮らしを守り支えるまち

■道路維持のための修繕を行いました

……………2億3,459万1千円
道路や橋を安全に長く使えるようにするため、調査・点検を継続して実施しています。令和6年度は、市道向島伏原線、慶賀野垂井線などの舗装修繕工事を完了したほか、次年度から実施する橋りょう点検の計画などを開始しました。



■消防庁舎防災機能強化緊急整備工事を行いました

……………6,832万9千円
災害時の消防庁舎機能確保として、橋本北消防署に自家用給油所を新設、非常用発電機燃料タンクを増設し、大規模災害発生時にも72時間以上業務を継続できる体制を整備しました。



■SDGs交付金事業を行いました

……………7,033万5千円
住民自治の振興と市民協働によるまちづくりを推進するために、市内の区・自治会を対象に、持続可能な地域コミュニティ発展のための交付金を交付しています。令和6年度から新たに、自主防犯や交流イベント、デジタル化、業務改善など地域の特色を活かした事業に対する補助を拡充しました。

■防災行政無線システムを再整備しました

……………5億6,351万4千円
近年増えている大規模災害に備えて、運用から15年以上が経過した防災行政無線システムを各家庭で受信可能な戸別受信機を主体にしたシステムに再整備し、希望する世帯に戸別受信機を配布しました。



■ひきこもり支援推進に向け取り組みました

……………1,147万1千円
1市2町（橋本市・九度山町・高野町）共同で、専門機関に委託してひきこもり支援を進めています。ひきこもり状態にある本人やご家族を支えるため、相談支援事業や居場所づくり事業に取り組みました。

令和6年度に実施した主な事業

ともに創る 産業の振興と雇用を創出し定住できるまち

■ふるさと橋本応援寄附金（歳入）

……………4億7,544万3千円
市の魅力や地域産品を全国にアピールし、ふるさと納税による歳入の確保に取組みました。返礼品の種類を拡充し、取り扱い件数は1,482品となり、前年度比41%増となりました。



▲橋本市の特産品（ぶどう・柿）

■転入夫婦に新築住宅取得補助金を交付しました

……………630万5千円
子育て世代の転入を増やし、人口の増加を図るため、新築住宅を取得して転入する40歳未満の夫婦に対して補助金を交付しました。令和6年度では、この補助金を受けて70人が転入しました。

■農業振興条例関連補助金を交付しました

……………9,521万4千円
農業経営の持続的な発展を図るため、農業振興条例に基づき補助金を交付し、農業者を支援しています。農産物の販売促進、担い手育成、鳥獣害・病害虫対策、災害復旧など、多方面から農業経営の安定と地域農業の振興に取組みました。

■プレミアム付デジタル地域通貨2024を販売しました

……………2億3,874万3千円
物価高騰により影響を受けている地域経済を支援するため、プレミアム付デジタル地域通貨（プレミアム率20%）を発行しました。プレミアム分の利用は地元店舗限定とし、地域経済の活性化を図りました。



■工業団地造成と企業誘致に取組みました

……………45億5,304万3千円
雇用の拡大、地域経済の活性化を図るため、和歌山県・橋本市・南海電気鉄道株式会社が共同で開発を進めている工業団地「あやの台北部用地」について、令和7年3月に完成し、分譲手続きを開始しました。



橋本市の財政指標

財政状況を示す財政健全化判断比率（右表）では、いずれも危険信号とはなっていませんが、下記の財政力指数や経常収支比率では、和歌山県内の他市と比べて市税など自力で得る収入が少なく、お金の使い道の自由度が低くなっています。

財政力指数 0.453

標準的な行政サービスを行うためのお金を自ら賄える割合
（数値が高いほど財政に余裕がある）

経常収支比率 100.9%

市税など経常的に入るお金が借金の返済など義務的な経費に充てられる割合
（数値が高いほど財政にゆとりがない）

県下9市中
6位
平均0.501

県下9市中
8位
平均97.0%

財政健全化判断比率

指 標	内 容	橋本市	危険信号 早期健全化基準 ^(※)
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	12.66%
連結実質赤字比率	すべての会計の赤字の割合	赤字なし	17.66%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	11.5%	25%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	28.2%	350%

※この基準を超えると、健全化計画を作成し、財政状況の立て直しに取組む必要があります。

一般会計の決算状況

収入	323 億 8,152 万円	支出	322 億 666 万円
----	----------------	----	--------------

公営企業会計の決算状況

民間企業のように、利用料金などの収益で運営する会計

会計名		収入	支出	差し引き
水 道	収益的収支	20.5 億円	17.1 億円	3.4 億円
	資本的収支	8.8 億円	30.4 億円	△ 21.6 億円
下水道	収益的収支	18.8 億円	18.4 億円	0.4 億円
	資本的収支	9.3 億円	14.1 億円	△ 4.8 億円
病 院	収益的収支	74.0 億円	83.6 億円	△ 9.6 億円
	資本的収支	4.6 億円	9.6 億円	△ 5.0 億円

特別会計の決算状況

一般会計とは別に、独立して経理を行う会計

会計名	収入	支出	差し引き
国 民 健 康 保 険	68.3 億円	66.3 億円	2.0 億円
駐 車 場	304 万円	230 万円	74 万円
墓 園	3,486 万円	3,329 万円	157 万円
介 護 保 険	66.5 億円	64.5 億円	2.0 億円
後 期 高 齢 者 医 療	21.9 億円	21.6 億円	0.3 億円
工 業 団 地 造 成	45.6 億円	45.5 億円	0.1 億円